

**繰返す「特権子女の不正入学」による
大統領の失脚事件**

荻原懇話会講演

荻原第4地域センター第1集会室

2019年11月16日(土)10:00~

新井 宏

Arai-hiroshi@jcom.home.ne.jp

URI : <http://arai-hist.jp/>

はじめに

前回は、2019年3月7日、三井住友銀行で

歴史を裁き政争を繰返す

朱子学原理主義の国「韓国」

と題して、世界の原理主義のひとつ「朱子学原理主義」により、**約束を守らず、独りよがちな正義感**のもとで、日韓関係を悪化させていることをお話しました。

イスラム原理主義(IS国家)

キリスト教原理主義(米国)

朱子学原理主義(韓国、北朝鮮)

いまや世界の調和を乱しているのが「原理主義」だと指摘し、勝手なことをしゃべりました。2

今回の切り口

今回も、エスカレートし続ける韓国の反日行動について、『文在寅大統領の失脚事件』などと、未だ失脚したわけでもないのに勝手に決めつけてお話しします。

ただし、前回の視点とは少し角度を替えて、なぜ「**韓国が約束を守らず独りよがちな正義を振り回すのか**」について、「明治維新」や「386世代」の歴史を例を採りながら説明いたします。それにしても、このテーマを高橋会長にお知らせしたのは9月5日、まだ何が起きるか判らない時でした。随分、乱暴な話です。

～歴史は繰返す～

韓国大統領の受難史

第1～3代	李承晩(1948～60)	4・19革命で米国に亡命
第4代	尹潽善(1960～62)	時局に関する事件で司法処分3回
第5～9代	朴正熙(1963～79)	金載圭・中央情報部長により殺害される
第10代	崔圭夏(1979～80)	実権なし
第11・12代	全斗煥(1980～88)	軍事反乱などの罪で死刑宣告
第13代	盧泰愚(1988～93)	軍事反乱などの罪で無期刑宣告
第14代	金泳三(1993～98)	息子の賢哲が韓宝不正事件で懲役
第15代	金大中(98～2003)	息子3名他親族が斡旋収賄罪
第16代	盧武鉉(2003～08)	収賄容疑で検察が捜査中に自殺
第17代	李明博(2008～13)	収賄や横領、職権乱用の罪で起訴中
第18代	朴槿恵(2013～17)	職権乱用などで懲役24年、罰金18億円
第19代	文在寅(2017～)	?

李氏朝鮮の政変残虐史

西暦	政変	西暦	政変	西暦	政変
1398	芳遠の乱	1527	灼鼠の変	1627	丁卯胡乱
1400	芳幹の乱	1545	乙巳士禍	1636	丙子胡乱
1407	閔無咎兄弟の獄	1547	良才馱壁書事件	1645	昭顯世子の死
1453	癸酉靖難	1567	宣宗士林派重用	1651	金自点の謀反
1456	端宗復位の運動	1587	己丑獄事	1659	礼論政争
1468	南怡の謀反	1591	世子問題抗争	1680	庚申換局
1470	亀城君の配流	1592	壬辰倭乱	1689	己巳換局
1480	士林派の登用	1609	臨海君の殺害	1694	甲戌換局
1482	尹妃の廃妃	1612	金直哉の獄事	1701	巫蠱の獄
1498	戊午士禍	1613	七庶の獄	1717	世子問題論乱
1504	甲子士禍	1615	申景禧獄	1721	辛壬士禍
1506	中宗反正	1622	仁祖反正	1725	乙巳処分
1519	己卯士禍	1624	季适の乱	1728	季麟佐の乱

26代の国王あるいはその王世子らのうち12名までが毒殺等異常な死に方をしている。金正日も変死か

王位篡奪の類似法則

歴史には良く似た事例がしばしば起る。北朝鮮の金正恩の権力掌握過程が、李朝の王位篡奪とそっくりなのである。登場人物の名前さえ入れ替えれば、そのまま使えるほどである。

主 役	宗主国	先王	長男(直系)	三男(傍系)	親宗主国派 or
			正統継承権者	篡奪者	被粛清グループ°
金正恩	中国	金正日	金正男	金正恩	張成沢
芳遠(太宗)		太祖	撫安大君(芳蕃)	芳遠	鄭道伝
首陽大君(世祖)		世宗	端宗(文宗の長男)	首陽大君	金宗瑞、皇甫仁
光海君	明国	宣祖	臨海君、永昌大君	光海君	柳永慶、金直哉
鳳林大君(孝宗)	清国	仁祖	昭顯世子	鳳林大君	金白点

文在寅も朴槿恵と同じ経過

朴槿恵の場合

「独善・独断」、「意思疎通の不足」→帝王化・孤独化
超側近の背後霊(**崔順実**)の活用
超側近の娘**ユラ**の**梨花大**不正入学事件
「ろうそくデモ」発生で完全「死に体」

文在寅の場合

「独善・独断」、「意思疎通の不足」→帝王化・孤独化
超側近の背後霊(**曹国**)の活用
超側近の娘**ミンヒ**の**ソウル大・高麗大**ら不正入学事件
「ろうそくデモ」発生で完全「死に体」

朴槿恵失脚と異なる点

朴槿恵の場合

崔順実の娘ユラは財閥や特権層に繋がるが馬鹿な女性。嫉みの主体は一般の若者たち。これに**386世代**の民主化勢力や民主労総が便乗した。

いわば、386世代以下の年齢層の連携行動。

文在寅の場合

曹国の娘ミンヒは、江南左翼(シャンペン派、ネロナムル)の特権層の娘で、高校生で論文第1著者になった。これに反発したのが、**386世代**から疎外された向上志向の学生たち。保守(高齢層)＋疎外された若者という奇妙な組み合わせが主体。

「正義」ほど始末におえない

世の中、「正義」とは正しいこと、良いことを意味する。しかし「正義」と「正義」がぶつかりると悲劇が生まれる。

「宗教戦争」や「嫁・姑問題」を考えれば理解できるであろう。このところ、韓国でも**日本は約束、韓国は正義**と言い出した。

今回も益々エスカレートする「徴用工問題」や「慰安婦問題」などの韓国の反日行動をテーマにしますが、視点を変え、なぜ「韓国が約束よりも正義を優先するのか」、「約束には時効があるが、正義には時効がない」などを議論します。

日本では外交最重視

- 日本は明治維新を通じて、真の独立国を維持するために、外交を最優先。
- 明治4年の岩倉使節団107名は、政権基盤も不安定な中、政府要人(岩倉、大久保、木戸、伊藤)のほとんどを連れて、2年間も欧米を訪問した。
- 日本の総理大臣中、外務大臣経験者(兼任含む)は戦前31名中17名、戦後30名中15名。最重要の閣僚。
- 初代総理大臣の伊藤博文は29歳の若さで初代兵庫県知事(県令)になった。外交の能力による。
- 日露戦争で、日本は捕虜の取り扱いに万全を期した。
- 日英同盟はその成果。**外交 = 妥協 = 約束 = 厳守**

日本の明治維新(1)

- 明治維新の推進者はほとんどが30歳代以下
勝海舟(44)、岩倉具視(42)、西郷隆盛(39)、**大久保利通**
(37)、木戸孝允(34)、坂本龍馬(32)、松平容保(31)、榎本
武揚(31)、徳川慶喜(30)、高杉晋作(28)、黒田清隆(27)、
伊藤博文(26)
- 鳥羽・伏見の戦いで幕府軍敗走、新政権成立直後、土
佐藩士による11名の仏水兵殺傷攘夷事件(堺事件)他い
くつかの事件が起きた。日本は11名の切腹と15万ドル(8
億円)の償金を受入れた。
- 急進的・国粹的な**尊皇攘夷**は既に終わっていた。

日本の明治維新(2)

- 明治維新の先覚者は備後福山藩主、老中**阿部正弘**であった。1853年ペリー来航に際し開国を決意し、優秀な外交官僚(川路聖謨トシアキラ、江川英龍ヒデタツ、ジョン万次郎、岩瀬忠震タダナリ、勝海舟、大久保一翁イチオウ、永井尚志ナオユキ、高島秋帆シュウハンら)を抜擢育成した。
- 明治維新の功績者として、歴史関係者は、**阿部正弘**、**大久保利通**、**伊藤博文**の3名を挙げる。更には小松帯刀を挙げる者も多い。いずれも日本の外交面を支えた人物。西郷隆盛や坂本龍馬が明治維新の主役というわけではない。

日本の明治維新(3)

- 日本が鎖国した真の理由は、銀の産出が衰えたところにボリビア・ポトシ銀山の安価な銀が流入し、為替が制御できなかったことにある。江戸後半には、紙幣のような一分銀貨を発行して、通貨発行者の特権(3000万両)を享受していた。
- しかしペリーの来航で金貨が流出、幕府はそのツケを払わねばならなかった。幕府崩壊の真の理由は為替問題にあったと思っている。
- 戊辰戦争の戦死者は両軍で8420名。直前の米国南北戦争は50万人、清の太平天国の乱は両軍共に数10万人。朝鮮の東学党乱も数万以上、朝鮮戦争は400万人。

日本の明治維新(4)

- 五稜郭の旧幕軍が降伏勧告を受けた際、榎本武揚は拒否するが、『万国海律全書』が失われるのを恐れ黒田清隆に贈る。これが榎本の助命に繋がり、榎本外務大臣を生んだ。
- 新政権にとって不平等条約改定は悲願であった。岩倉使節団をはじめ、鹿鳴館などの涙ぐましい努力あっても遅々として進まず、完全回復するのは日露戦争勝利後の1910年である。実に57年の歳月を要した。
- 外交があって初めて、日露戦争の時、日英同盟、ユダヤ資本家シフの戦時国債2億ドル引受けを実現した。当時の国家予算は2.6億ドル

日本の明治維新(5)

- 1868年から1889年までの御雇外国人数は2690人、多くが日本の大臣級の給与(月額500円ほど)を得ていた。
- 優秀な者が多かったのは、高給もあるが、若年とか人種的にとか母国で不遇な者もいた。
- 彼らを厚遇した結果、帰国後、母国で地位を得て、日本の肩を持ち、日本の地位向上に大きく寄与した。
- 専門外での貢献： クラーク(ラグビー)、ウイルソン(野球)、レルヒ(スキー)、ウエストン(登山)、モース(大森貝塚)、ゴーランド(古墳研究)、ナウマン(ナウマン象)、フェノロサ(美術)。

明治維新期の韓国(1)

- 1863年 大院君政権の成立。水戸斉昭、下関・薩英戦
- 1866年 米商船シャーマン号焼討。全員死亡
- 1866年 仏宣教師殺害 仏は江華島占拠。
- 1868年 オツペルト事件。大院君の父遺骨盗難
- 1871年 米艦隊江華島攻撃 シャーマン号報復
- 1873年 旧守派閔氏政権の成立。大院君失脚
- 1873年 征韓論 開国を迫る
- 1875年 江華島事件。日本が朝鮮に武力示威。
- 1876年 日朝修好条規。閔氏日本に近づく
- 1882年 壬午軍乱 大院君復活、閔氏清と組み大院君拉致。
- 1884年 甲申政変。親日開化派クーデター失敗。

明治維新期の韓国(2)

- 1894年 東学党の乱。大院君(日)と閔妃(清)対立。
- 1894～5年 日清戦争。賠償3億円。清国貢納廃止。
- 1895年 親露反日政策をとった閔妃殺害。
- 1896年 高宗ロシア公使館播遷(～1897年2月20日)。
- 1897年 大韓帝国成立
- 1904～5年 日露戦争
- 1905年 朝鮮の外交権を剥奪
- 1906年 韓国統監府を置く。併合派と反対派拮抗
- 1907年 オランダハーグ密使事件 高宗廃位
- 1909年 伊藤博文暗殺。伊藤博文は併合反対
- 1910年 韓国併合。

明治維新期の韓国(3)

1863~72年 大院君政権: 衛正斥邪で西欧を夷荻視

1871 日本、朝鮮の宗主・清国と日清修好条約

1873 閔妃派により大院君失脚

1873~94年 閔妃派政権: 日本→宗主国清国

1875 雲揚号事件で日本が開国強要

1876 日朝修好条規(李鴻章の薦め)・西欧も続く

1882 壬午軍乱(大院君): 1884 甲申政変(親日派)

いずれも**清の力**を借りて閔妃派が鎮圧

1894 東学党の乱(反閔妃・反日)

閔妃(清)と大院君(日)が対立、日・清共に出兵鎮圧

1894~95年 日清戦争以降(日・露の影響力増大)

1895 **親露反日**政策をとった閔妃殺害

1896 高宗ロシア公使館播遷

外交のなかった朝鮮

日本 1853～1867年(江戸幕府)

幕府 阿部正弘・井伊直弼 開国
倒幕派 志士や朝廷 尊皇攘夷

1868～1910年(維新政府)

維新政府 開国・富国強兵

幕末には西欧語を解す者数千人

朝鮮 1863～72年(大院君)

鎖国・衛正斥邪

両班に西欧語を解する者なし

1873～94年(閔妃派): 日本→宗主国清国

壬午軍乱、甲申政変、東学党の民衆のエネルギーを清国の力で制圧

1894～1910年(日清・日露戦争 大韓帝国)

ロシアに頼るも日本支配下で併合される

約束(契約)の世界 西欧と日本

- 西欧：「神と人との約束」が基本。神は人に「自由」を与えた。「自由」と「自由」が衝突しないために「約束」がある。
- 日本：「**恥の文化**」 名誉のため約束を守る。武士に二言はない。太宰治「**走れロメオ**」。約束を守るため安請け合いはしない。
- 韓国：**韓国語に「約束」という言葉はなかった**。安請け合いするが、守れなくとも平気でいる。
- 日本も西欧も共に分権的な「封建社会」を経験し、交易・商業を発展させた。韓国は中世的中央集権制

イザベラバードの日本・韓国紀行



19世紀の大英帝国
の旅行家、探検家、
紀行作家、写真家
『日本奥地紀行』
『朝鮮紀行』

イザベラバードの見た日本(1878)

- (東北地方1200マイルの旅)世界中で日本ほど婦人が安全に旅行できる国はない。これほど自分の子どもをかわいがる人々を見たことが無い。
- (馬子は)礼儀正しくやさしく勤勉で罪悪を犯すことはない。草ぼうぼうの「怠け者の畑」は存在しない。
- 祭りの観衆3万2千人に、たった25人の警官で充分。誰にも幸福感、満足感、機嫌のよさが現れている。
- 一羽の鶏を買った。一時間後に絞殺そうとしたとき、所有者が悲しげな顔をしてお金を返しにきた。私は直感的に、この国は人情の美しいところであると感じた。

イザベラバードの見た韓国(1894)

- 主として、現在の北朝鮮地域を旅行
- 猜疑、狡猾、嘘を言う癖などの悪徳が見られ、人間同士の信頼は薄い。女性は隔離され、ひどく劣悪な地位に置かれている。
- 狭量、千篇一律、自惚れ、横柄、肉体労働を卑しむ間違った自尊心、寛大な公共心や社会的信頼にとって有害な利己的個人主義、二千年来の習慣や伝統に対する奴隸的な行為と思考、狭い知的なものの見方、浅薄な道徳的感覚、女性を本質的に蔑む評価など朝鮮教育制度の産物と思われる。

文在寅政権の「政策と実績」

以下、文在寅の「主要政策」とその「成績表」についてグラフなどで説明します。

- 文在寅の「所得主導成長」の破綻
- 文在寅の「自画自賛」「強弁」体質
- 文在寅の支持率暴落
- 文在寅の「八方塞がり外交」
- 青瓦台秘書官への権力集中
- 내로남불(ネロナムル)
- 386世代
- 「積弊清算」

文在寅의成績(景氣動向)

경기동행·선행지수 추이



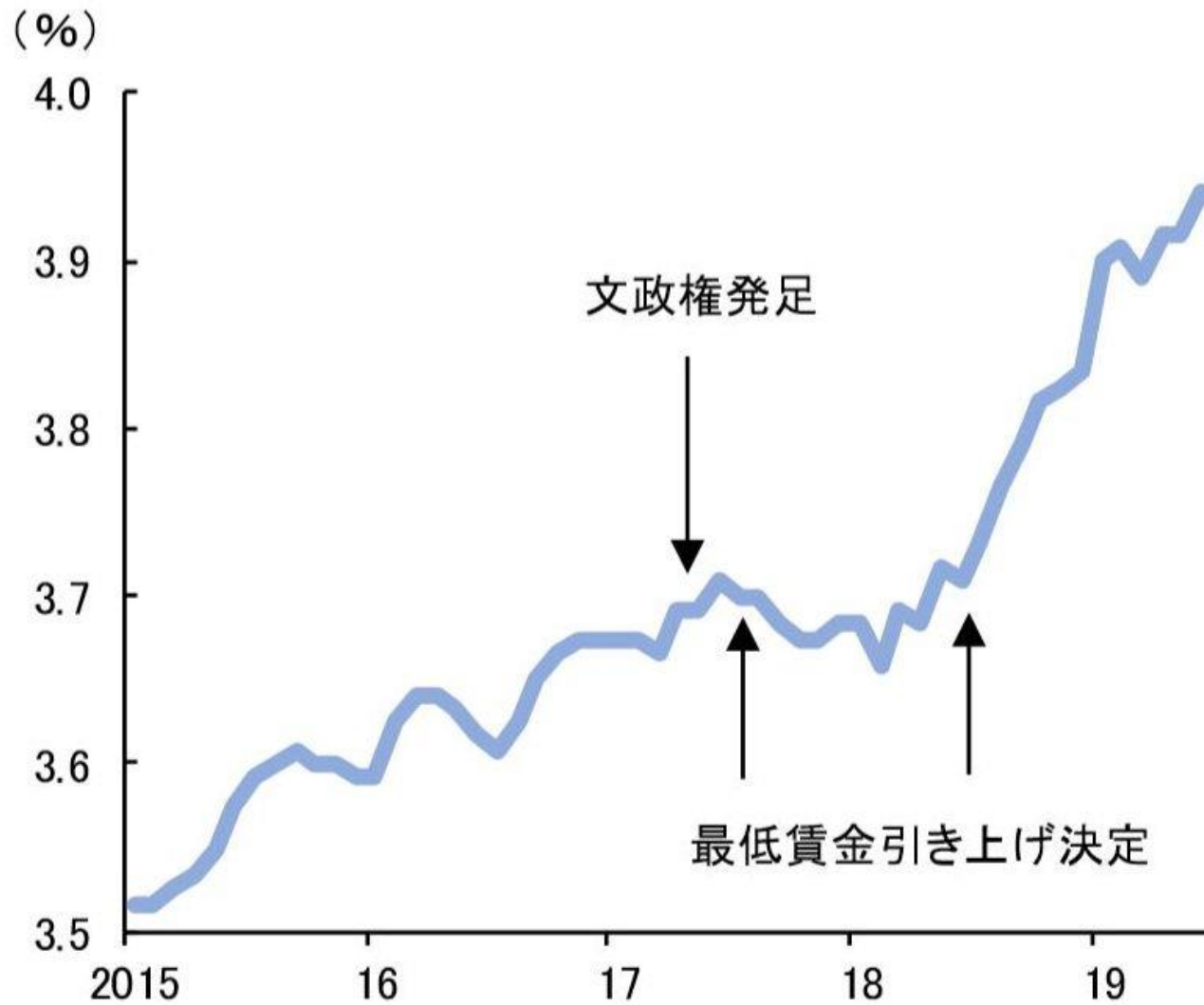
文在寅の成績(経済成長率)



文在寅の成績(消費者物価)



文在寅の成績(失業率)



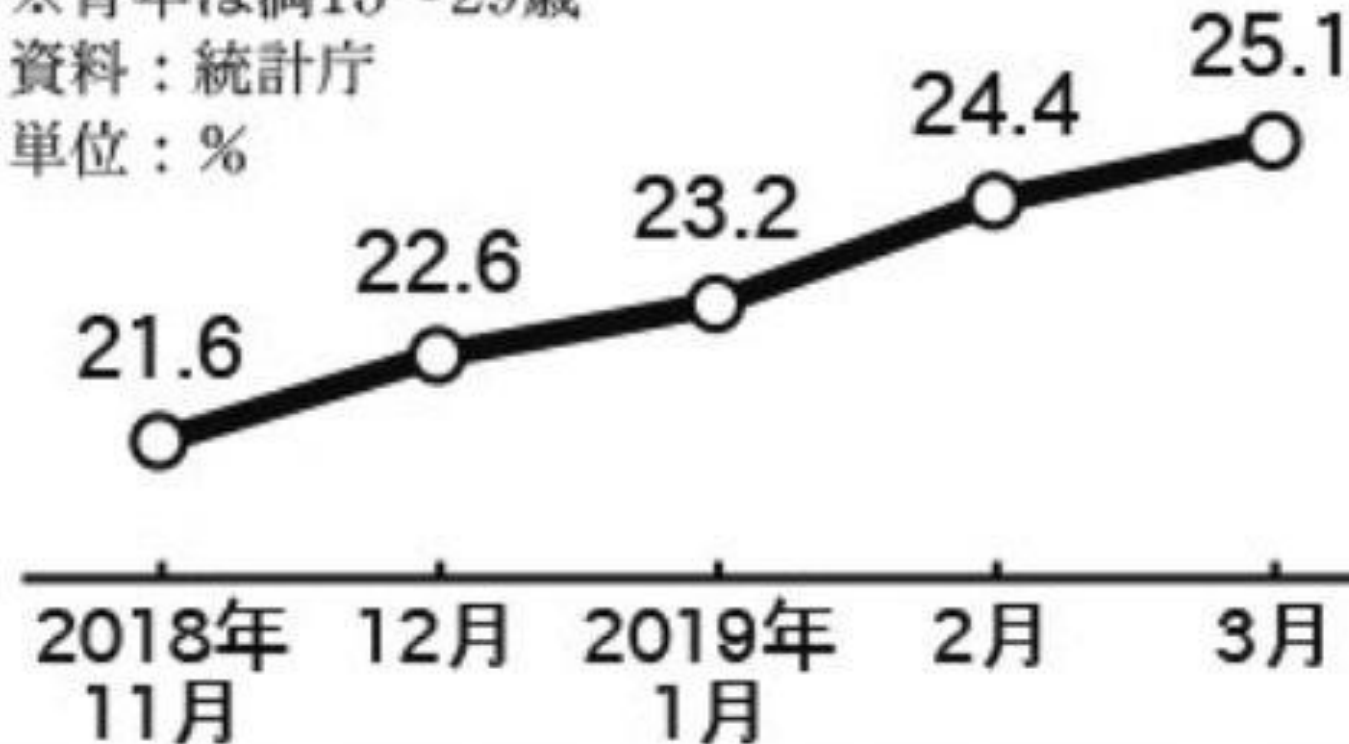
文在寅の成績(青年失業率)

青年体感失業率の推移

※青年は満15～29歳

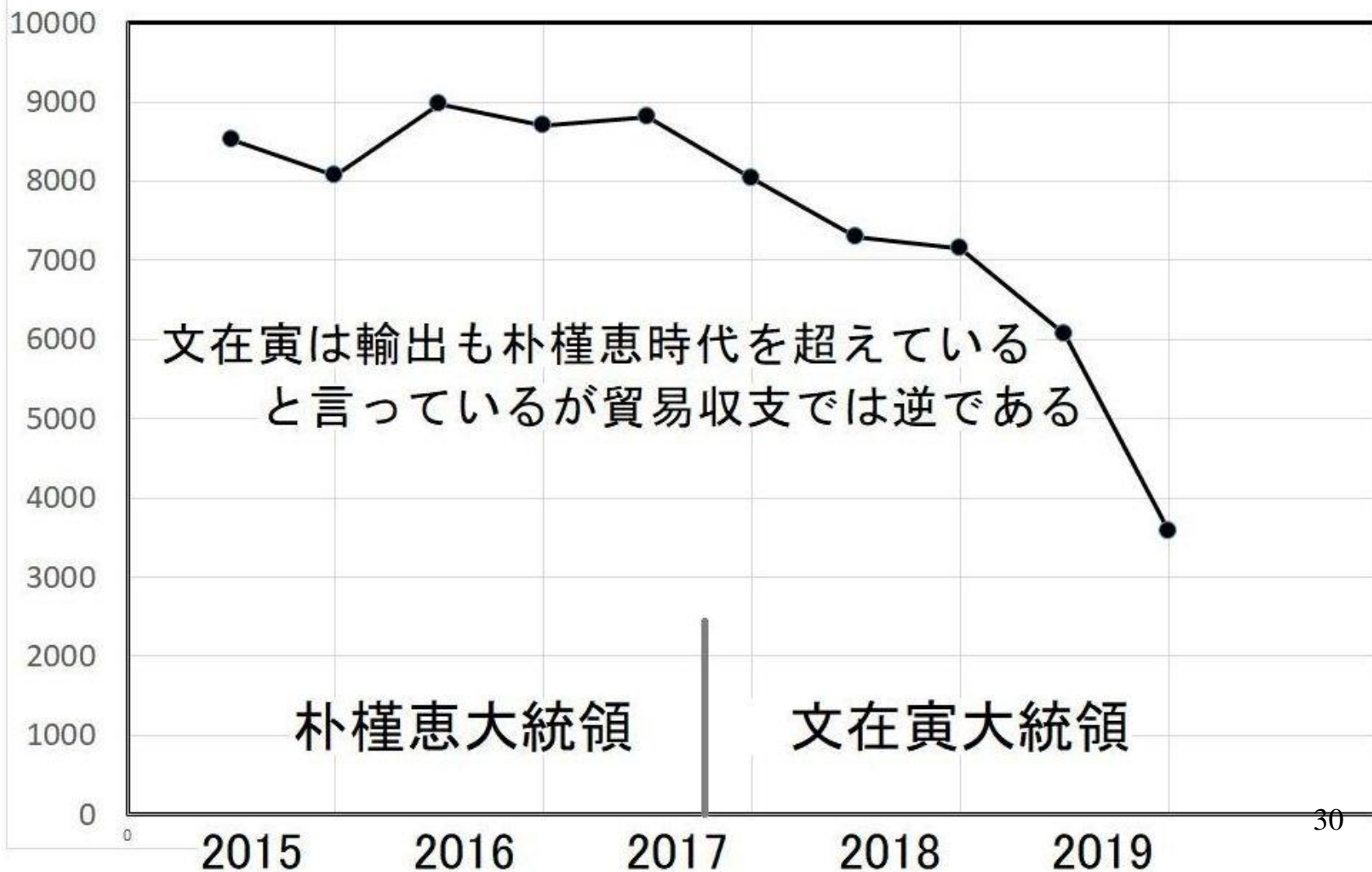
資料：統計庁

単位：%



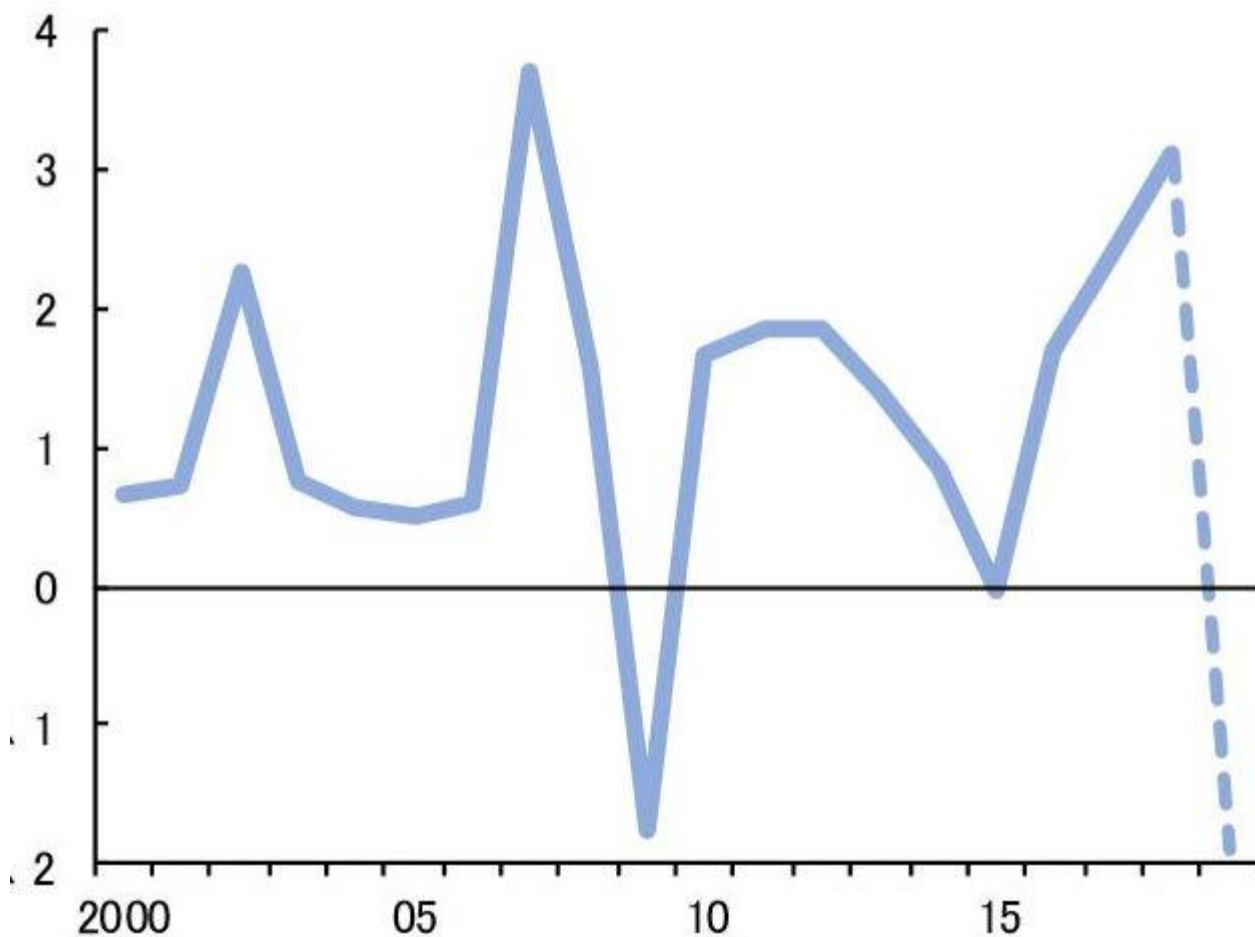
文在寅の成績(貿易収支)

韓国貿易収支(百万\$/月)



文在寅の成績(財政収支)

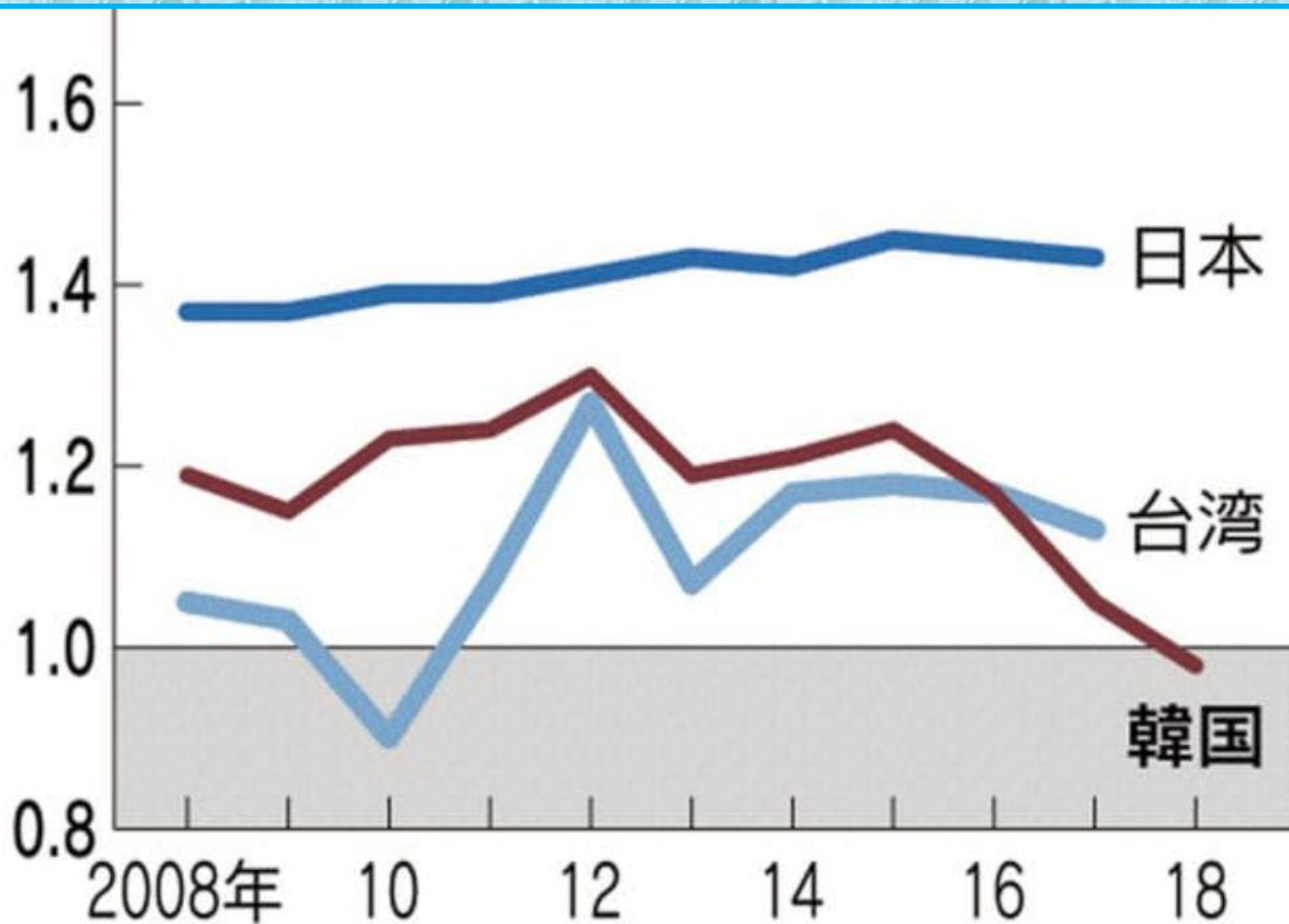
(10兆ウォン)



失業対策で公費による仕事を大量に作る。

**赤字国債60兆
ウォンの超スー
パー予算**

文在寅の成績(特殊出生率)



(注)韓国統計庁と日本の内閣府などの資料を基に作成

文在寅「バラ色の経済見通し」

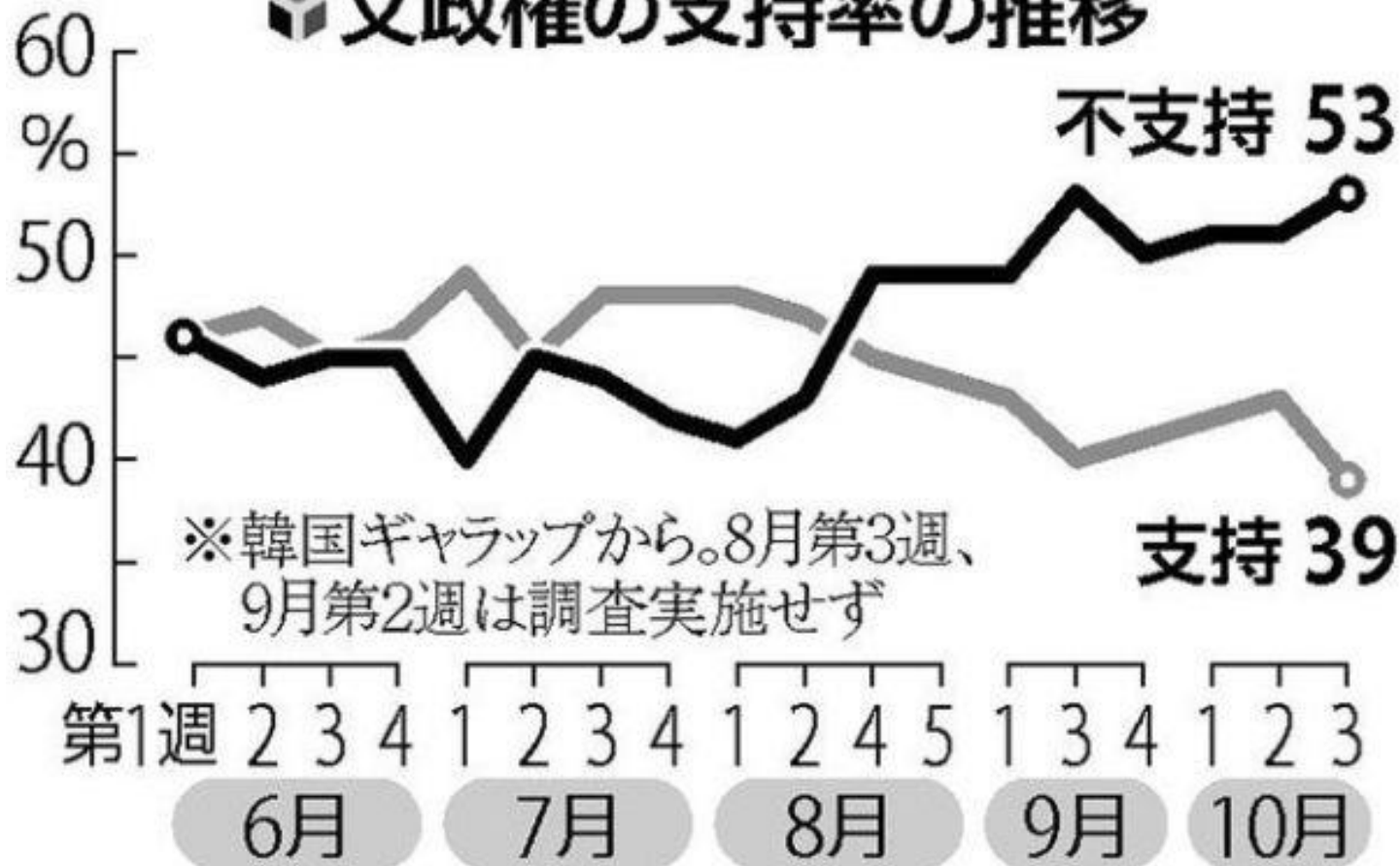
- 文在寅は過去2年間、「**バラ色の経済見通し**」を振りまき、**自画自賛**。「政策は正しいが、統計が誤っている」
- 「経済成長率も前政権よりも改善し、輸出も6000億ドルを超え最大。マクロ指標は安定的に管理している」
- 「我々の経済は善戦している。危機感はない」
- 今年の2月「OECD中、現在は1位と言う驚くべき成果を上げている」
- 北朝鮮と経済を統合して**平和経済**になれば、韓国は飛躍的に発展する。
- ついにマスコミも声をそろえて言っている。**多くの指標の内、1つでも現実になったものはあるのか。**

文在寅政権の成績表(支持率)

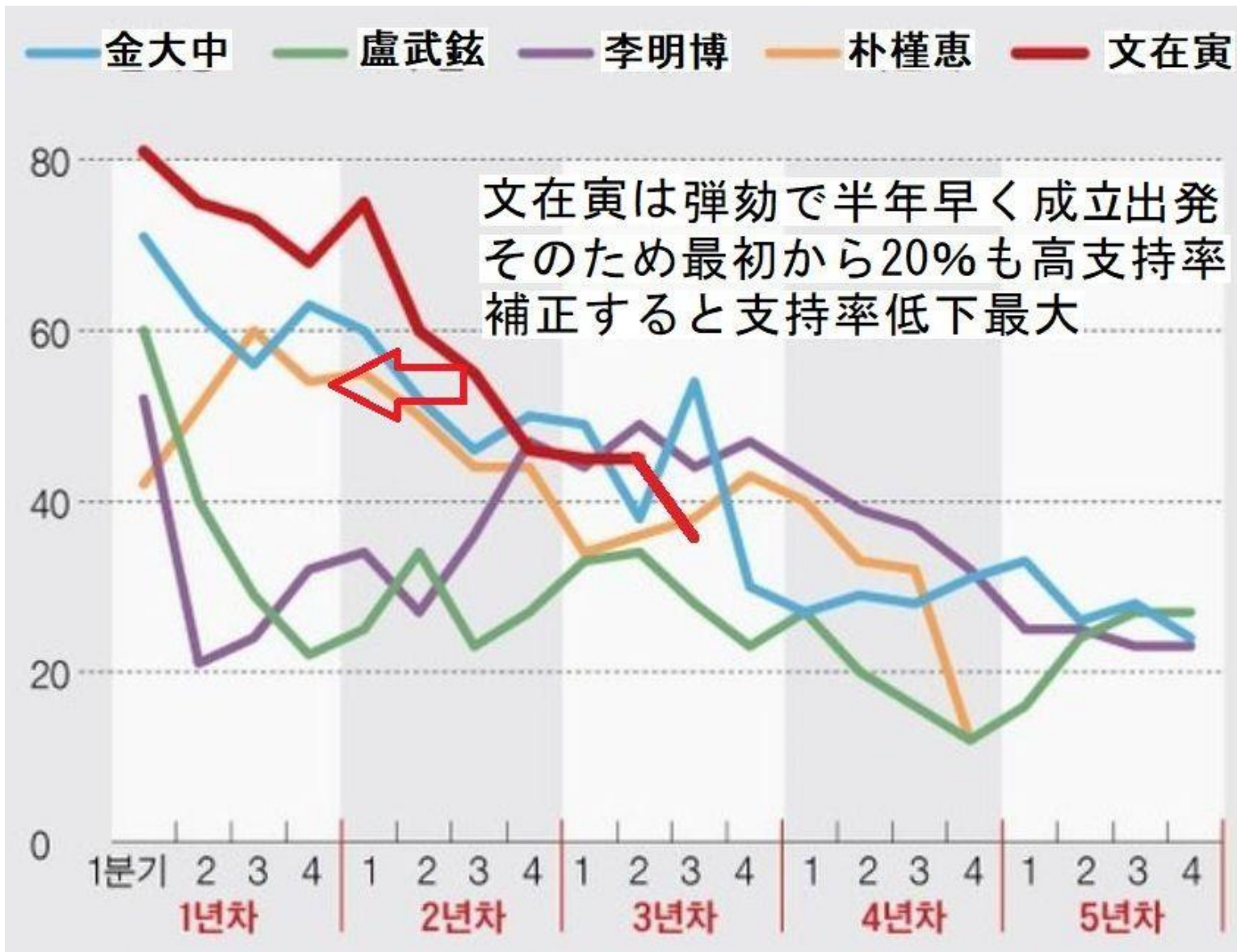


文在寅政権の成績表(支持率)

文政権の支持率の推移



文在寅政権の成績表(支持率比較)



文在寅の「所得主導成長」

- 「所得主導成長」とは、分配改善を通して家計で使える金を増やし、それにより、内需を刺激して雇用増につなげ好循環を生むという目論見。
- 次のような目標を定めた。しかし経済学者の間では、‘話にならない’と云っていた。

最低賃金の引上げ(640円→1000円)

労働時間の短縮(週68時間→52時間)

非正規職の正規職への転換

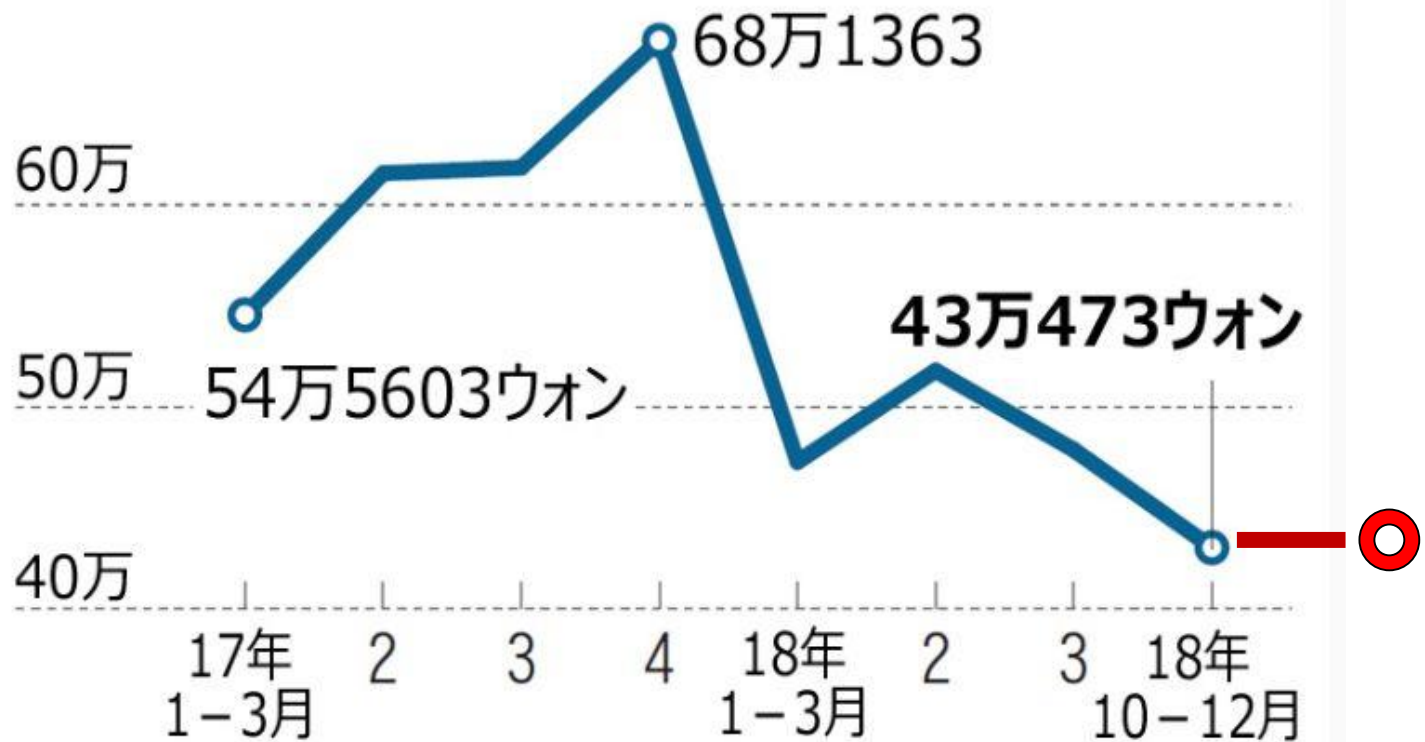
公共部門で81万人の働き口創出

法人税22% →25%

結果は、経済の成績表で明らかであるが、それにも係わらず文在寅は2年間「**経済は正しい方向に向っている**」と言い続けていた。

最低賃金を引上げて 所得下位者の収入激減

所得下位20%の勤労所得推移 単位：ウォン
月平均



資料 = 統計庁

労働時間(週68時間→52時間) 非正規職の正規職へ

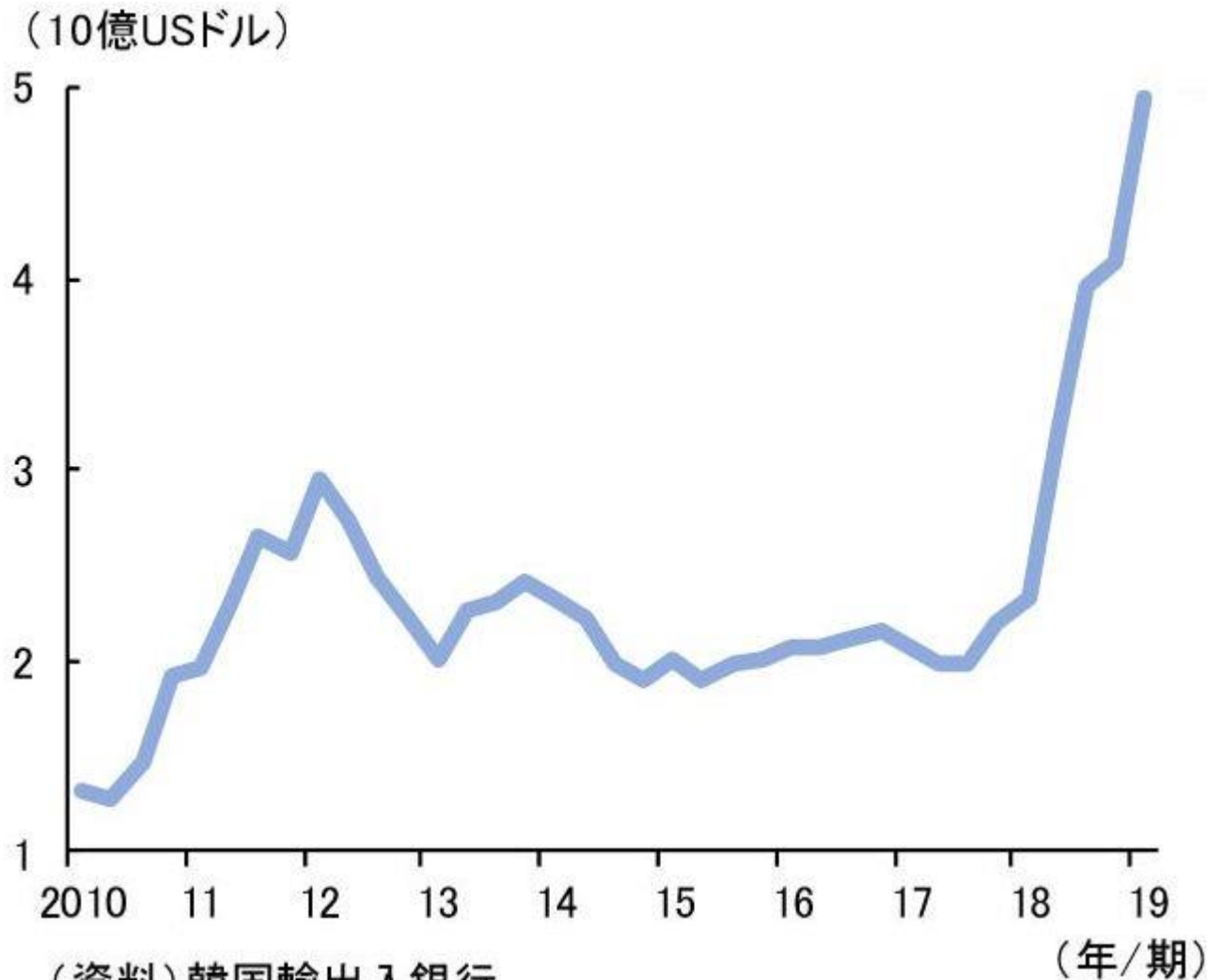
9月末の統計庁の発表によると、過去1年間に、正規職35万人減、非正規職85万人増(期間限定の就労者を従来は正規職としていたが、非正規職に変更したことに原因があると言う)。

2.3兆円税金投入、正規職を増やす計画が、実際には正規職が減って非正規職が大幅に増えている。

昨年は「経済は改善している(はず)なのに統計に表れていない」との理由で、統計庁長官(女性)を更迭した。

正規職が増えたのは公務員と労働貴族ばかり。2.3兆円はどこに消えたのか。年俸280万円の労働者なら100万人就職できる金額。

大企業も海外に逃げ出している



法人税22%から25%に。
労働時間、週68時間から52時間へ。
ますます強硬になる労組。
国内投資が困難になり、企業が海外に出て行く。

文在寅政権の成績表(外交惨事)

- 朝鮮半島運転者論： 地政学を無視した「独りよがり」の発言に、今や**世界の笑い物**
- THAAD： 中国に媚びて、設置を中断している。中国が感謝しているかと思えば、今や韓国を属国扱い。
- Gsomia破棄：**まさか誰も破棄するとは思わなかった**。曹国問題から目をそらすためとの説さえある。米国激怒。**民族の自尊心が傷つけられたから**
- 金正恩： 文在寅を利用しようとしたが、余りにも力がないので、むしろ邪魔者あつかい。いや、馬鹿扱い。
- 外交欠礼の続発・日米韓同盟の危機： 全て「積弊清算」で**外交部の日本担当者を全員更迭**、米国担当も大幅交替し、ど素人大使を任命したことで、**外交部が完全に機能マヒ**。

文在寅政権のウソ・強弁

- Gsomia破棄： 米国の理解を求めた。
米国 “それは**ウソ**”
- 北朝鮮はICBMの発射に移動式発射台は使えない。
軍事専門家 “**開いた口がふさがらない**”
- 北朝鮮の弾道ミサイルは韓国にとって脅威ではない。
外交問題専門家 “**開いた口がふさがらない**”
- 文大統領記念館設置 問題になると「指示してない」
明白な証拠が残っている。

安倍政権の失敗

- **対韓国貿易規制**は誰が見ても**強制徴用工問題**に対するものである。しかし、それを直接言ったら国際世論を味方にできない。**規制**→事務的な取り扱いの変更。
- これは**安倍政権の「思いあがり」**。国際世論は日本に不利。そのため、日本は急遽、徴用工問題のために貿易規制をするのではなく、**安全保障問題**のため管理を強化するのだと言う。
- 中国が希土類金属の輸出規制をした時、日本は耐えて勝利を得た。国際世論が韓国についた時、日本が負ける可能性があった。
- そこに**韓国がGsomia破棄**を打ち出した。ほっとしたのは**日本である。日本完勝、韓国自滅**

文在寅の脱原発政策

- 文在寅政権は建設中の原発の中断や稼働中の原発も将来的に廃炉とする「脱原発」宣言を行った。
- まず電力が不足し始め、火力発電の燃料費増で電力会社が悲鳴を上げている。また深刻な大気汚染は脱原発のため石炭火力発電を縮小しないからだ。
- 李明博政権時にサウジアラビアの原子力発電所工事を日本提案の6割(2兆円)で受注したことを「積弊」として大問題にしたところ、**サウジアラビアの皇太子から一喝**された。その後40兆円ほどの膨大な工事が控えているのである。韓国の**原子力発電産業壊滅**。
- 中止された原発周辺では、原発再稼働の運動。環境問題も解決できない。

文在寅政権の成績表(人事)

- 文在寅が当初圧倒的な支持率を得たのは、ポピュリズム的性格もあるが、前の朴槿恵の圧倒的な不人気への反動である。
- そのため、青瓦台は何でも出来、秘書官に権力集中、政府各部長官は課長級の任命権までも奪われた。
- 官僚は全て、青瓦台のみ意識していて、実質、青瓦台の独裁体制が生まれた。**その中心に曹国がいた。**
- 曹国の失脚と文在寅の支持率低下で、今後青瓦台の権力行使に支障が生れるので、与党は選挙に戦々恐々。大統領の重任を認めない韓国では、まもなく内紛が始まるはずである。
- 日本通・李洛淵首相がどうなるか。安部首相と手を握って次期大統領を狙うか。首相から大統領になった例はない。⁴⁵

文在寅政権(曹国氏問題)

- 曹国は「江南左翼(シャンペン族、ネロナムル)」口では正義、公正、平等などメディア受けのよい主張で人気をとるが、実生活では富・地位・特権を維持したまま……二枚舌、偽善の左派、典型的な学生運動世代の「**386世代**」
- 曹国は「私は社会主義者」と言った。
- 江南左翼の社会主義実験が韓国経済の最大リスク
- 社会主義者は「機会均等」よりも「結果平等」優先。税金のバラマキばかりで仕事を生む投資が逃げて行く
- 「民主労総」には逆らえず、貴族労組ばかり優遇
- 曹国の不正問題が明らかになるなか、次期大統領候補として5位から3位に上昇。文在寅の「背後霊」
- いまさら切っても手遅れ。

韓国の民主化運動 386世代(1)

- **386世代**とは、1990年代に30代(3)、1980年代(8)に**学生で民主化運動**に関わった1960年代(6)生まれの者を指す。2000年代には486世代、2010年代には586世代とも云う。
- **(20代)** 軍事政権の金斗換は、1980年厳戒令を出し、金大中らを拘束、**光州事件**を弾圧した。1987年、学生運動家2名の死亡、500万人のデモが発生。翌年にソウルオリンピックを控え、盧泰愚が民主化宣言して収拾。

韓国の民主化運動 386世代(2)

- (30代)
- 1990年に盧泰愚、金泳三、金鍾泌の三党統合。
- 1993年に金泳三大統領誕生。
- 1994～95年、聖水大橋や三豊百貨店の崩落事件。1997年、金斗換、盧泰愚の有罪判決
- 1997年、通貨危機IMF事態、1997末、金大中大統領誕生
- 2000年、南北首脳会談、6.15南北共同宣言、金大中大統領、ノーベル平和賞受賞

韓国の民主化運動 386世代(3)

- (40代)
- 2001年 金大中の次男・三男、斡旋収賄
- 2002年 ワールドカップ^o4位、女子中学生2名米軍装甲車事故で轢死
- 2003年 盧武鉉大統領。
- 2004年 与党支持で選挙法違反、側近の不正、経済政策の失敗で弾劾。この党利党略の弾劾に国民

世代別社会・経済的与件の差違

幕末志士と似る 386世代

大学進学率

青年失業率

一人当りGDP

ソウルのアパート

返済金比率

貯蓄可能金額

세대별 사회·경제적 여건 차이

단위: %

65년생(386세대) 75년생(X세대) 85년생(밀레니얼세대)

대학진학률



청년실업률(25~29세 시절 평균)



사실상의 완전고용

1인당GDP 대비청년노동의 가치(25~29세 시절 평균)



서울 내 아파트구입 평균 소요기간(35세 시점의 소득 기준)



소득 중 대출상환금 비중(35~39세 시절 기준)



소득 중 저축 가능 자금(30~40대 시절 평균)



386世代の経営陣比率



386族の政治的なイメージ

韓国の右派: **親日**と言われるのを恐れ**反日(?)**

強烈な**反北**であるが暴発を恐れ忍耐 **親米**

韓国の左派: 右派を強烈に憎むことで存在 **反右派**

反右派→親北→反米→反日 敵の敵は味方

文在寅政権成立時の朝鮮日報記者の予見

新任の文在寅を見て、**我執・無能、批判に激怒**する点で、朴槿恵と変わらない。青瓦台に**(386族)**の学生運動歌が響き、ままごと国政、五日置いた碁で、四年後に再びロウソクデモが起きるだろう。

政変の陰に「女子」が絡む

韓国の政変の起因となるのがしばしば「女子」である。

◇第16代盧武鉉： 選挙直前に女子中学生が2名、米軍の装甲車に轢かれ死亡した事故を契機に激しい反米運動がおこり、左翼を利した。

◇第18代朴槿恵： 彼女の背後霊・**崔順実の娘ユラ**が梨花大に不正入学したことが、きっかけでローソクデモを誘発し、ついに大統領弾劾まで進んだ。

◇第19代文在寅： 彼の超側近・**曾国の娘**が虚偽の研究歴・学歴で壇国大、高麗大、ソウル大に入学。

この他にも子息や近親者の徴兵忌避や不正(利権、贈賄、収賄、横領)が政変に繋がる。

崔順実とその娘・ユラ

- セウォル号沈没の時、朴槿恵が誰と会っていたか。その中で昔の愛人「崔太敏」の名もでた。**崔順実**の父。
- 朴槿恵の私設顧問で、スポーツ行政に権力をふるう。
- その娘、**鄭ユラ**は馬術選手で、梨花大に不正入学。そのことでローソクデモ勃発。
- 大韓航空オーナーの妻や娘達のピーナッツリターン事件等の横暴ぶり。



曹国の娘の入学不正

- **高校生の時にSCIレベル医学論文の第1著者**に登録。インターンとして数日勤務したのみ。このことだけで、なんとか良い論文を載せて、就職したい学者予備群は完全に背を向けた。
- 落第2回。しかし不正で奨学金、6回120万円。
- 東洋大総長の表彰状も偽造。
- 鄭慶心パソコンディスク交換、私募債から手当。
- 曹国の長男、東洋大修了証、参加資格もない
- 息子の兵役延期。

曹国一家の犯罪「百貨店」

- 曹国自身の年齢詐称
- 曹国の娘の年齢詐称
- 曹国の修士論文、**日本学者論文の盗用**
- 息子の兵役延期
- 不透明な私募債投資(中国・地方政府600億投資?)
- 一家が経営する熊東学園の不正・証拠隠滅
- 鄭慶心パソコンディスク交換証拠隠滅
- 鄭慶心、私募債から手当受給。
- 曹国一家は遵法意識かがまるでない。
- その曹国が司法大臣になった。

文在寅政策(反日政策)

- ① 慰安婦問題合意の白紙化
- ② 強制徴用工問題 1965年日韓請求権協定無視
- ③ GSOMIA破棄 遂に米国も怒りはじめた

いずれも韓国が火をつけた

文在寅政権のやり方は、**火だけ付けて**、不利な状況が現れると強引な解釈をし、更に悪化すると、**放置してしまう**のが特徴である。これが学生運動のやり方。

韓国には「**結者解之**」と言う「四字熟語」がある。問題を起こした者が問題を解決しなければならないという意味である。しかし、**何でも他人のせい**にして、一安心してしまうのが韓国。

手当たり次第の反日・排日

- Gsomnia破棄：**民族の自尊心が傷つけられたから**
- 17市議会「戦犯企業**284社**製品不買条例」
- 戦犯企業製品：ステッカー貼り付け
- 日本の輸出規制に勝った勝った、痛くも痒くもない
- 政府機関の民主研究院 韓国の判定勝ち
- 日本製品不買運動 アサヒビールでもユニクロでも
- 日本原産樹木は全て伐採
- お米・日本品種→韓国品種へ
- 日本由来語の廃止
- 東京五輪ボイコット

文在寅の強固な支持層

- ここまでお話すると文在寅はもう駄目だということはお分かりいただけたと思う。
- しかし、文在寅には**386特権層**という強固な支持層がある。財閥特権層のように一握りではないが、中枢に座り、必死に既得権を守っている。
- しかも現在の「反曹国」勢力は、保守層(高齢者)と反386世代(若者)という奇妙な組み合わせである。更に保守派は朴槿恵事態で大きく信頼を失っている。
- これが文在寅支持率下落のなかでも**「反日」「親北」を唱える**と支持率が回復する。目がはなせない。

ベストセラー『反日種族主義』

- つい最近韓国で出版されたベストセラー。
ソウル大教授・李榮薫ほか七名の著書
- 韓国メディアの報道によると、そこに書かれた内容は、**日本の主張にそっくり**です。
 - ① 日本による土地やコメの収奪はなかった。
 - ② 従軍慰安婦の強制連行はなかった。
 - ③ 独島(竹島)が韓国領土であると国際社会で主張できる資料はない。

反日感情は未発達な精神文化でこれを克服して初めて韓国は発展できる。

Youtube に李榮薫教授の「講演」が載っている。

最後に

- 政治・社会・経済的には、米国や日本に近い自由世界(海洋国家)で在りながら、地政学的には、中国(大陸国家)に近い国家である。
- Gsomia離脱→元に戻したい→経済報復に色→自棄で離脱→米と対立・半島撤退→核保有北韓と統合→中国の属国化 (中・朝・露) 対 (米・日・印)
- いま韓国が**地政学的な課題にまともに取り組んでいない**。李朝やポーランドの歴史に学ぶべき。反日などと暢気なことを言っている場合ではない。
- 清朝時代には、朝鮮は清の属国であり、その宮廷における地位は、清の高官はもとより、薩摩藩の属国・琉球よりも低かった。